

こどもひろば

だい 2026.9 (第372号) ごう

よんでみて！あたらしくはいった本

『ポタッポタ』

アーロン・ランデル／作, ありた なお やく 有田 奈央／訳
Gakken (J/L220)

■ポタッ、ポタという おとが いえの どこから きこえます。
みずの おとかなと おもって おふろばを みますが ここでは
ないようです。

おとの めしを さがして、いえじゅうを みてみることに
しました。



幼児 ★★★

じゅうりよく

『ドッシンポトン重 力はたのしい！』

チョン ヨンギョン／文, かんしゅう カン ジョン／絵, チョ ジンホ／監修
やく たまがわだいがくしゅっぱんぶ
なかやま よしゆき／訳 玉川大学出版部 (J/K834)

■ジャンプすると、ドシンとおちます。水のしずくも、すなつぶも地球の
上にあるものはみんなおちてしまいます。

ちきゅう
それは、地球が下にひっばっているからです。このひっばっている力の

じゅうりよく
ことを 重 力 といいます。



小学生 ★

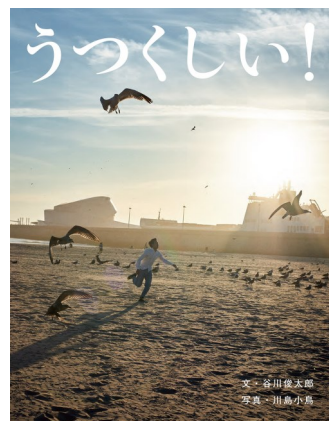


『うつくしい！』

たにかわ しゅんたろう 谷川 俊太郎／文, かわしま ことり 川島 小鳥／写真 かいせいしゃ 偕成社 (J/K835)

■なにかを うつくしいとおもったことは ありますか。じつは
わたしたちは、うつくしいものに かこまれて いています。

じぶんや ほかのひとたちが うつくしいとcanじるものには
どんなものが あるのか、どうして うつくしいと おもうのか
そうぞうしてみましよう。



小学生 ★★

★がおおいほど本のないようがむずかしくなるよ。

おはなし会の よてい

9月のおはなし会

さぬきおはなし会

6日(日) 14:00~14:30
えほんのよみきかせ、おはなし、わらべうた
などをします。

しゅつえん

出演：さぬき語りの会

こうさぎおはなし会

8日(火) 11:00~11:30
わらべうた、えほんのよみきかせなどを
します。赤ちゃんから5才くらいまでの
子どもと保護者のためのおはなし会です。

しゅつえん

つむ

出演：おはなし紡ぎの会

いちご

9日(水) 10:30~11:00
えほんのよみきかせ、かみしばい、
手あそびなどをします。

しゅつえん

出演：いちご



おおばこおはなし会

12日(土) 14:00~14:30
かみしばい、えほんのよみきかせ、おはなし、
手あそびなどをします。

しゅつえん としよかん

出演：図書館ボランティア「おおばこ」

「おはなし紡ぎの会」によるおはなし会

19日(土)
◎こうさぎおはなし会 14:00~14:30
(赤ちゃんから5才くらいまでむけ)

絵本『ぐりとぐら』

親子で楽しむわらべうた

◎おひさまおはなし会 14:30~15:00
(4才以上むけ)

いじょう

語り「あたごのうら」

絵本『ひがんばん』

しゅつえん

つむ

出演：おはなし紡ぎの会

わくわくかみしばい会

26日(土) 14:00~15:00
いろいろなかみしばいをじょうえん
します。

『でてきておつきさま!』

『うさぎのしっぽ』

『どんぐりとやまねこ』など

しゅつえん

じゅく

出演：まいまい塾 ネットワーキング

10月のよてい

ひづけ	じかん	おはなしかい
4(日)	14:00~14:30	さぬきおはなし会
6(火)	11:00~11:30	こうさぎおはなし会
10(土)	14:00~14:30	おおばこおはなし会
14(水)	10:30~11:00	いちご
15(木)	11:00~11:30	えいごあそび
23(金)	15:30~16:00	秋のおはなし会
24(土)	14:00~15:00	わくわくかみしばい会

としょかん

図書館にきてくれるみなさんへ

けんりつ としょかん

県立図書館のあいている日と時間

火ようび～金ようび ごぜん 9 時 から ごご 7 時 まで

土・日・しゆくじつ ごぜん 9 時 から ごご 5 時 まで

★毎しゅう月ようびが、お休みです。

★9月21日（月）～23日（水）は、ごぜん 9 時 から ごご 5 時 まで
あいています。そのかわり、24日（木）がおやすみです。

今月の本「名前の本」

今では当たり前となった名字を庶民が名乗れるようになったのは、明治政府が
平民に名字を名乗ることを許してからのことです。

1870（明治3）年9月19日に「平民苗字許可令」が交付されました。
この日にちなんで、9月19日が「苗字の日」とされました。

そこで、今月の本は、名前にまつわる本をしょうかいします。

●『うさこちゃんとたれみみくん』

ディック・ブルーナ／ぶん／え、まつおかきょうこ／やく

ふくいんかんしよてん

福音館書店（J／B6／40－21）

●『名字の事典』

もりおか ひろし かんしゆう

森岡 浩／監修 大月書店（288／M2／3）

●『いちから考える「夫婦別姓」のこと』

きったか まさみ かんしゆう ふうふべっせい

橘高 真佐美／監修 夫婦別姓を考える会／編・著

しよぼう

さ・え・ら書房（320／K7）

しりよう

資料コーナー入り口近くの本だなにしています。ぜひ読んでみてください。

<参考>・国立公文書館，“あの日の公文書” 国立公文書館ニュースVol. 11

URL : https://www.archives.go.jp/naj_news/11/anohi.html, （参照2026-8-27）

・豊田武著『苗字の歴史』中央公論社、1971年

* 3 ページまでは、小学3年生から習う漢字にルビ（ふりがな）をつけています。

* 「こどものひろば」は、県立図書館のホームページでも見ることができます。

URL : <https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>

◆◆◆◆子どもと本を楽しむ大人のみなさんへ◆◆◆◆

●夏休みの宿題に役立つ2つのイベントを開催しました●

図書館で考古学のおしごと体験

7月29日（水）、香川県埋蔵文化財センターと当館が連携して、考古学の仕事を体験できるイベントを開催しました。事前応募の小学生とその保護者29名が参加しました。

初めに、埋蔵文化財センターの職員より、考古学や遺跡についての説明がありました。県立図書館建設に際し、埋蔵文化財センターが発掘調査を行った空港跡地遺跡とそこから出土した貴重な遺物についての解説もあり、遺跡がぐっと身近なものになりました。

本物の土器に触れる時間では、参加者は「本当に触ってもいいの？」と、慎重に土器に触れていました。

その後、参加者は、割れた土器を元の形に戻す「接合体験」、土器に出土した日付や場所などを書き込む「注記体験」、「土器観察体験」といった、考古学の仕事を体験しました。



おやこdeはかってみよう！～夏休み親子計量教室～

8月5日（水）、香川県計量検定所、香川県計量協会と当館が連携し、楽しく計量について学び、はかりの工作や計量を体験できるイベントを開催しました。応募者の中から抽選で選ばれた小学生とその保護者4組11名の参加がありました。

初めに計量検定所の職員から、計量の歴史やその重要性についてのお話と計量検定所が行っているはかりの検査の紹介がありました。



次に、参加者は「てこの原理」を利用した棒はかりを作り、消しゴムやコマなどを棒はかりと電気式はかりで計って、正確さを比較しました。子どもたちからは、自分で作成した棒はかりの正確さに驚きの声が上がっていました。最後に、図書館の職員がはかりや計量に関連する図書を紹介しました。

今月のコラム「つながる、つなげる図書館」

他の団体からのお声がけから、図書館でイベントや展示を開催することが増えてきました。図書館には幅広い分野の資料があるので、さまざまな団体とつながることができるのです。

それぞれの機関が持っている知識や資源を県民の方に知っていただく機会にもなり、図書館への来館のきっかけにもなるので、とても有難いことです。

今後もいろいろな団体と協力して、本と人をつなぐだけでなく、人と人、知識と人、体験と人をつなげる図書館でありたいと願っています。（T）